

2017.05.17

InterRisk Thai Flood Report <2017 No.2>

タイの洪水関連情報

現在の状況

- ✓ 昨年から継続されている効果的な水供給管理により、干ばつによる農業への大きな被害は発生していません。
- ✓ 現在の主要ダムの水位は大洪水が発生した 2011 年の 5 月時点と比較して低く、雨季の降雨に対して十分な余裕があります。
- ✓ Chao Phraya 川の水位は全ての観測所で Normal であり、河川氾濫による洪水が発生する可能性は低い状況です

王室灌漑局（Royal Irrigation Department :RID）のコメント http://water.rid.go.th/news/news_60_172.htm

- ✓ 干ばつによる農業の経済的被害は発生しておらず、二毛作（または二期作）の畑では計画の 2 倍に上る収穫がありました。深刻な水不足が発生しなかった理由は、2015-2026 年の間にそれ以前と比較して水源を 4 倍に拡張させる計画が進行していること、また、効果的な水供給管理と Royal rain project（人工降雨計画）により主要なダムの水量を一定以上に保つことができたことが挙げられます。作物の収穫量が計画より多くなったことから農業用水等の需要も増加しましたが、乾季を通してダムへの水の流入が継続したことから、需要に見合う供給が確保されました。
- ✓ 2017 年雨季における洪水対策はソフト面、ハード面の両面から既に実施されています。ソフト面の対策としては、気象観測、ダム放水シミュレーション、灌漑水路の審査、農業計画の見直しが行われ、ハード面の対策としては灌漑水路の浚渫、修復が行われています。

3 ヶ月気象予報（5 月-7 月）: https://www.tmd.go.th/3month_forecast.php

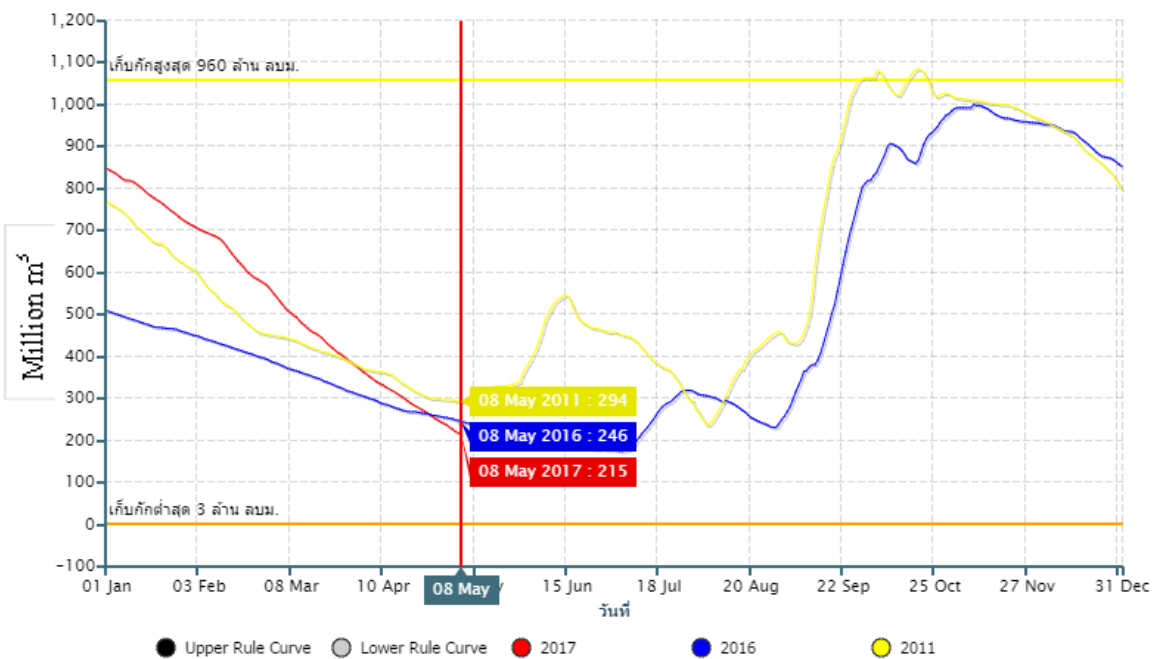
- ✓ 雨季の初期（5 月-7 月）はタイ全土で概ね平年どおりの降雨量が予測されています。
- ✓ 中央部および東部においては、5 月中旬に平年を 10-20% 上回る降雨が予測されています。また、5 月中旬から 6 月末にかけて、局地的に大雨が降るおそれがあります。その後、6 月末から 7 月初めにかけて一旦降雨量が減少します。
- ✓ 北部、北東部では 5 月初旬に雷雨の影響を受けるおそれがあります。
- ✓ 南部では南東季節風の影響により、6 月中旬まで大雨や高波に警戒が必要です。その後、季節風の影響は 7 月初めまで弱まり降雨量が減少しますが、7 月末にかけて再び影響が強まります。

洪水発生状況

5/16 タイ北部に位置する Payao 県の一部で 2 日間に渡る降雨により 30cm 程度の冠水が発生。

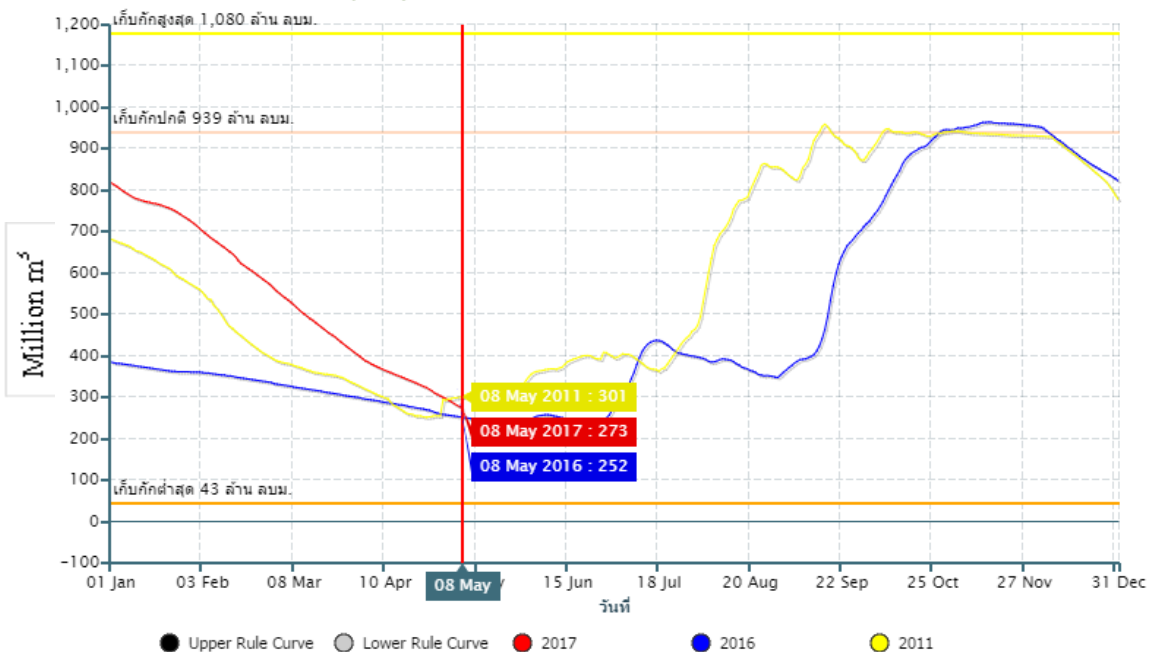
貯水量：Pasak ダム

ปริมาณเก็บกัก เขื่อนป่าสักฯ (22%)



貯水量：Kwaenoi ダム

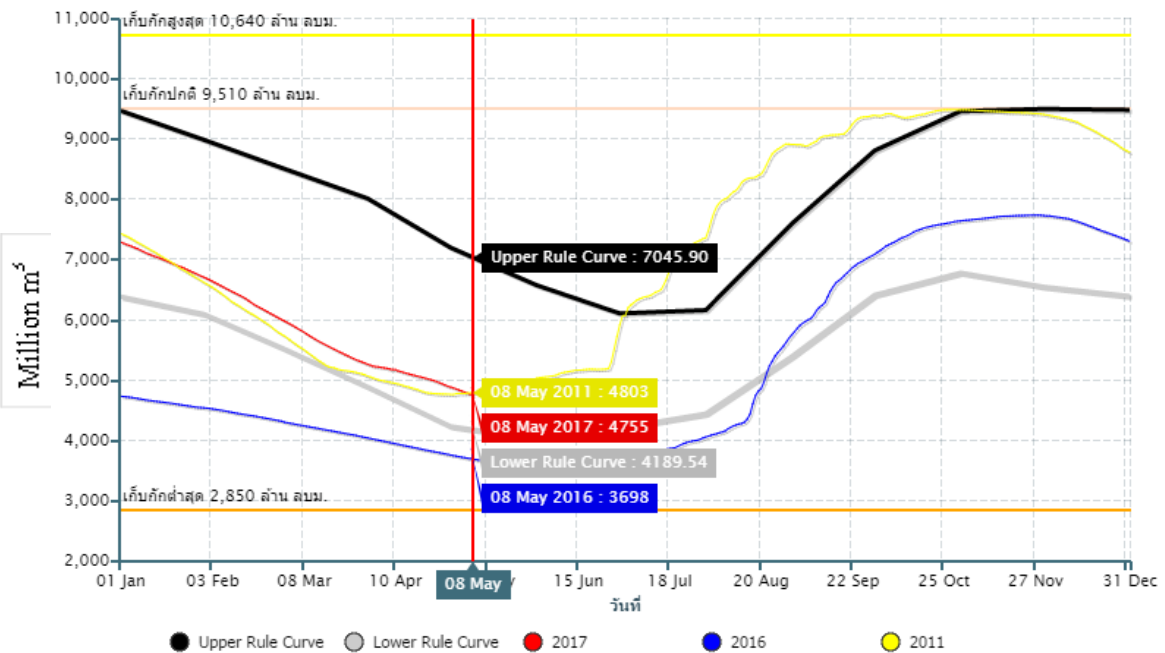
ปริมาณเก็บกัก เขื่อนแควน้อย (29%)



Pasak ダム、Kwaenoi ダムともに、貯水量は 2011 年の同時期を下回っています。両ダムともに放水が実施されており、計画通りに管理されています。

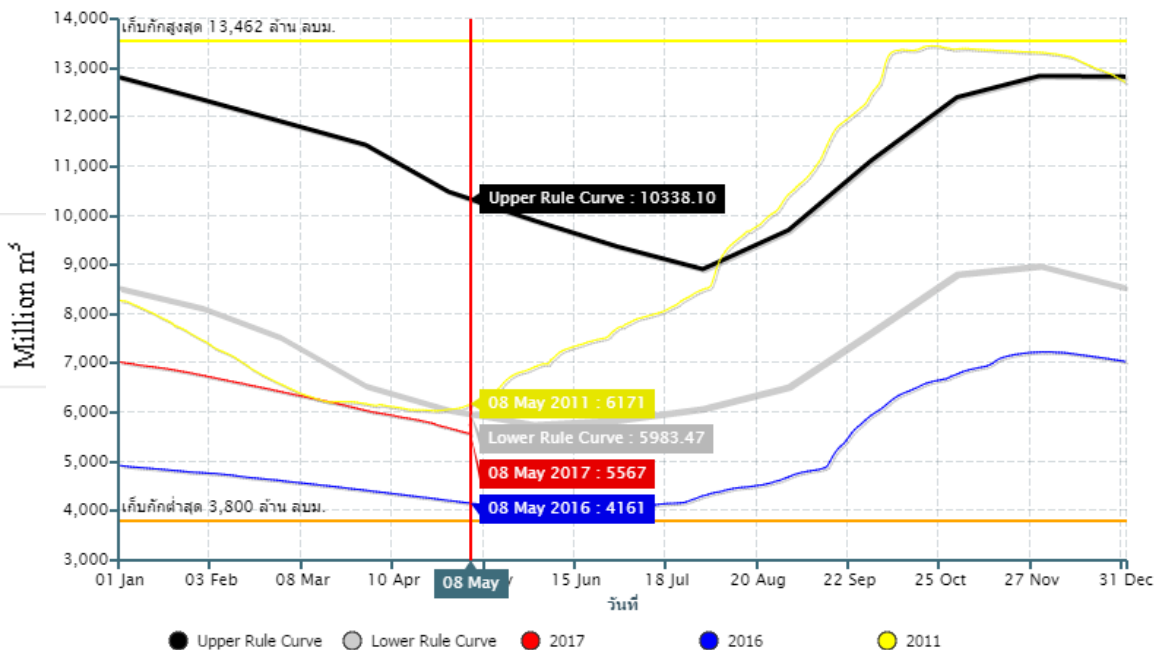
貯水量：Sirikit ダム

ปริมาณเก็บกัก เขื่อนสิริกิติ์ (50%)



貯水量：Bhumibol ダム

ปริมาณเก็บกัก เขื่อนภูมิพล (41%)



Sirikit ダム、Bhumibol ダムの貯水量も計画通りに管理されています。今後、上流域で大雨が降った場合でも、貯水容量には余裕があります。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流）

いずれの観測地点も”Normal（洪水危険なし）”の状態です。

Water Situation in the Chao Phraya River

17th May 2017

6:00 a.m.



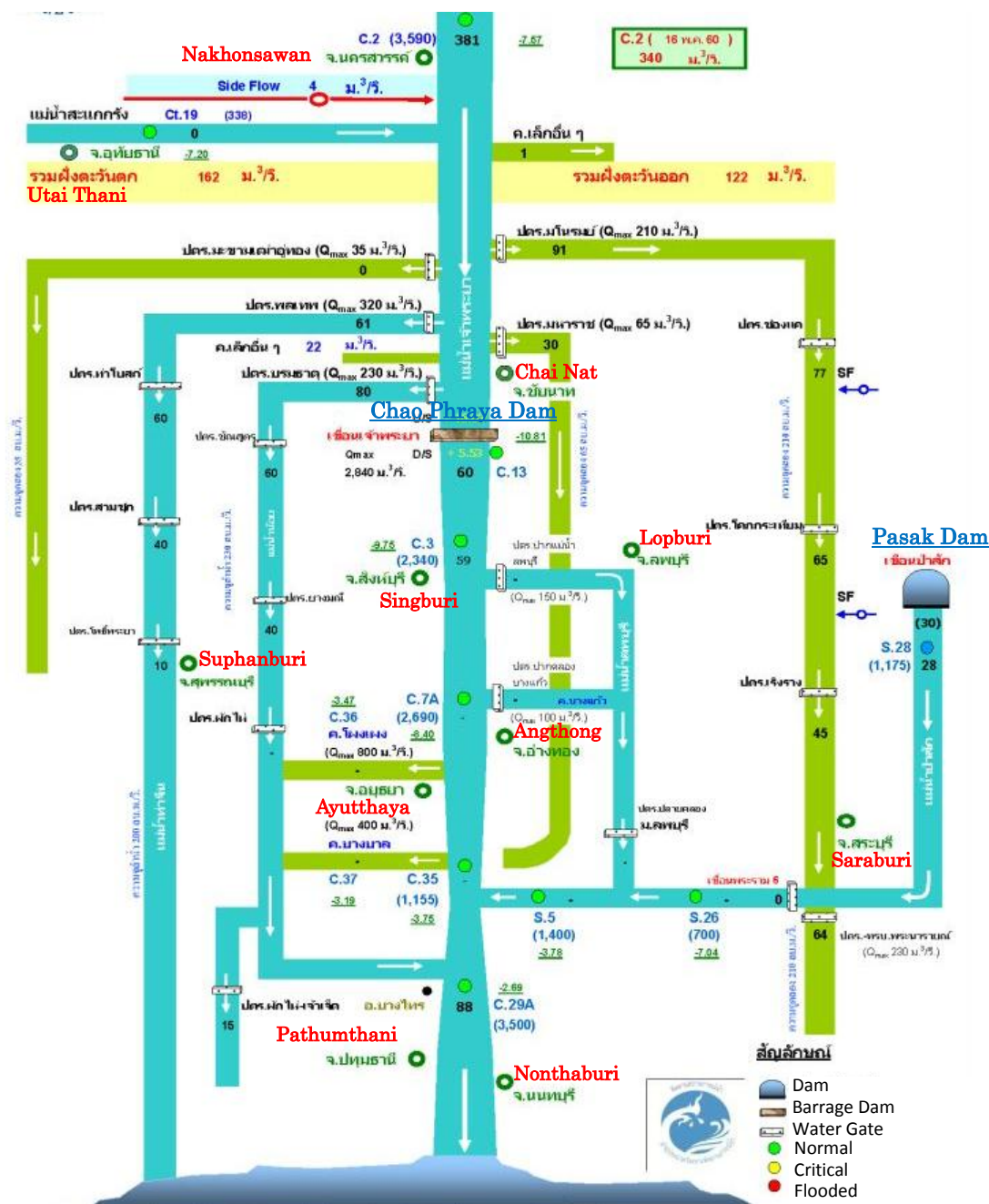
【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（ m^3/sec ）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・-（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流）

いずれの観測地点も”Normal（洪水危険なし）”の状態です。チャオプラヤ水系のダム水位、河川流量は適切に管理されています。

Water Situation in the Chao Phraya River
17th May 2017 6:00 a.m.



【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd Engineer Mr. Sutiwat Prutthiprasert （翻訳：佐藤 公紀）

参照

<http://www.tmd.go.th/thailand.php>
http://water.rid.go.th/news/news_59_082.htm
<http://www.thairath.co.th/>
http://www.tmd.go.th/monthly_forecast.php
<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/MonthRain.php>
http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=26082016
http://water.rid.go.th/flood/plan_new/planup.html
<http://www.bangkokpost.com/news/general/1106565/central-plains-brace-for-major-flooding>
<http://floodlist.com/asia/thailand-floods-reported-14-provinces-3-dead-nakornsawan>
http://water.rid.go.th/flood/plan_new/planup.html
http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=12012017

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先
㈱インターリスク総研 総合企画部 国際業務グループ
TEL.03-5296-8920
<http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先
InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand
TEL: +66-(0)-2679-5276
FAX: +66-(0)-2679-5278
<http://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2017